

経済透視図

102

2024年2月14日掲載

近年、サイバー攻撃ケースも増えており、高度化・多様化に伴うあらゆる通信を信用しない、セキュリティ対策を見せつける必要がある。ウェブセキュリティの基本的な考え方は「ゼロトラスト」だ。これまでは信頼できる社内と信頼できない社外に分け、境界をしっかりと防御するというのが一般的な考え方だったが、クラウドペレーションセンター化が進むにつれ重要な情報資産が社外にある

ウェブセキュリティ市場動向

①

が発生した際に対応する専門組織（CSIRT）を設置する企業が分析によるセキュリティ対策の改善が目的として増加している。セキュリティ攻撃を防御する仕組みを作るとも、さらに、近年はIoT、セキュリティの融合している。ITの進展や監視カメラなどのエッジデバイスが増加しており、対策も進められている。例えウェブと物理的なセキュリティの融合している。また、クラウドストレージが普及すること、現在も広く行われているPPAP（メーカー人材がいる一方、約400万人（日本は約11万人）不足しているという。産学官が連携し、日本全体でセキュリティ人材を育成する取り組みも進んでいる。また、クラウドストレージが普及すること、現在も広く行われているPPAP（メーカー人材がいる一方、約400万人（日本は約11万人）不足しているという。産学官が連携し、日本全体でセキュリティ人材を育成する取り組みも進んでいる。

「ゼロトラスト」前提に対策

やHRM（人材マネジメント）との連携強化が挙げられる。特に人工知能（AI）を活用したリスク検知・対策の強化やデータの暗号化されたまま計算可能なセキュリティの強化やデータの暗号化されたまま計算可能なセキュリティの強化が重要と見られる。また、クラウドストレージが普及すること、現在も広く行われているPPAP（メーカー人材がいる一方、約400万人（日本は約11万人）不足しているという。産学官が連携し、日本全体でセキュリティ人材を育成する取り組みも進んでいる。



SMBBC日興証券
プライベート・
キャピタル・
ソリューション室長
窪田 正吾

無断転載・複写禁止